

1月1日から31日の活動をまとめました

全国的にインフルエンザが猛威をふるった今年の一ヶ月。いつものようにインドアのスポーツ活動を楽しみながら、春に向けての準備も始まっています。

- 1月2日(水)** SVからのお知らせ (中高生スポーツボランティア育成講座修了式について)
- 1月8日(火)** SVからのお知らせ (現在募集中の内容について)
- 1月12日(土)** ベガルタ仙台ボランティア感謝祭
- 1月17日(木)** スポーツコミッション打合せ (スポーツフリートークなどについて)
- 1月19日(土)** スポーツフリートーク2019開催 (宮城野区中央市民センター／82名参加)

第一部「スポーツと地域の2019」



仙台市文化観光局天野局長、テーマは「スポーツと観光のつながり」

- これまでは「観光」が中心でしたが、現実にはビジネスやスポーツやコンサート・イベントなど「観光」以外の目的での仙台への訪問者が現在でも45%にのぼっている。
- インバウンドという視点で見れば、特に仙台の場合台湾からの来仙が37.9%と高く、現在楽天イーグルスと連携して誘客の取組がスタートしている。
- スポーツ、とりわけ仙台の3つのプロスポーツの年間観戦者数は約200万人、その数字は約100万人を集める「海の杜水族館」や「動物園」「青葉城」の観光客の合計に匹敵していて、消費額が大きくアップする宿泊者の比率を高めることが重要。

市民スポーツボランティアSV2004副代表理事村松さん、「仙台みやぎ2020の活動について」

- 「キックラブ」という組織は宮城県のサッカーワールドカップ推進委員会が起ち上げた市民組織でしたが、大会ボランティアや都市ボランティアとは異なり、自分たちで考えさまざまな大会の支援イベントを実施。
- 仙台みやぎ2020の活動は3月3日に宮城スタジアムでのアドベンチャーツアー、更に、6月9日のサッカー日本代表戦でのボランティア活動などを企画しています。大会までを楽しみ、大会期間中を楽しみ、そして、大会後を楽しむ事。そんなことが出来たら、まさに「人」と「経験」というレガシーが確実に生まれる。

スポーツコミッション仙台事務局次長清水さん、テーマは「(仮称) せんだいスポーツボランティアステーションの開設について」

- 設立目的は市のスポーツ推進計画における「ささえる」力の強化、スポーツのイベント運営に限らず、スポーツそのものを支える組織として、初年度は主に登録の促進と情報発信に取り組むことになる。
- 配付された資料の中で、大切な視点となっているのが、「共通目的」を達成するための仲間であり同志、という表現です。この言葉によって一方的な形ではなく、双方向でコミュニケーションを重視することがわかる。
- 事業内容はまずは登録、登録者への情報発信、育成、啓蒙などのほか、ボランティア育成やマッチング、研修事業なども段階的にステーションの事業となっていく。



第二部、プロスポーツの力と2019

楽天野球団ボールパーク本部本部長・球場長の川田さん。テーマは「楽天イーグルス～2018年の振り返りと2019年の目標」。

- 講演のスタートは、2018年の戦績などを振り返る映像。星野元監督の急逝に伴い、日本一をめざしたシーズンでしたが、結果はリーグ最下位。厳しい結果。
- 新しい年に向けては、一番の話題は「全面キャッシュレス化」の取組。さらに、一塁側への楽天タワーの設置など、新しい席種も増える。2019年のチームスローガンは「RESTART! 日本一の東北へ」。
- ボランティア活動については、一軍・二軍合計72試合、また、試合のない日のスタジアムの見学案内などに多くの方に参加いただき、登録数は過去最高の268名に達し、累計の活動参加者数は過去最高の3,914名。エコ活動では年間28tのCO2削減が実現できました。

サッカーベガルタ仙台事業部長の笹氣さんから「これまで、そして25周年プロジェクトについて」

- 昨年の天皇杯で経営規模がJ1で下から二番目のベガルタが約三倍の資金力のある浦和と対戦したということ、その経験をいかし今年はより上を目指す。今年が創設から25周年となる。
- クラブのスローガンは「Revolution」、そして、全力で取り組むのが「絆フットボール」。変換とつながりを大切に一年となる。「KIZUNA」プロジェクトは4つの柱からなっていて、「未来へつなぐスポーツ振興」「地域連携」「社会貢献」「東日本大震災復興支援」。

プロバスケットボールの仙台89ERS営業部長嵯峨さんから「新生89ERSの今、昇格の先に向けて」

- 現在創設から14年目のシーズンを戦っているチームは、2018年から新しい経営体制でスタート。
- バスケットを通じて豊かな社会づくり、元気な仙台の街づくりに貢献するなどの企業理念のもと、B1昇格の先には5年でB1優勝という目標を掲げている。2018-2019シーズンは「B1昇格」と観客年間動員「9万人」を具体的な目標とし、チームスローガンは「GRIND」。
- シーズン半分を過ぎて、成績はカンファレンスで3位ですが、上位とはわずかな差。観客数は平均2,759人とB2ではトップ。B1も含む36チームの中でも11位。(1月19日現在)



 スポーツフリートークは、さまざまな組織・団体が連携によって開催されており、まさにそれこそが仙台の強みなのだと思えます。ボランティアにとっては、こうしたスポーツでの街づくりや、スポーツイベントを「ささえる」ことは、大きな喜びですが、今後に向けてはボランティアを育て「ささえる」という視点も大切になります。一方通行ではない「ささえあう」取組を考え実行していきたいものです。

- 1月18日(金)** SVからのお知らせ (ボランティア募集)
- 1月23日(水)** スポーツコミッション打合せ (スポーツボランティアステーションについて)
- 1月26日(土)** ヴォスクオーレ仙台最終戦 (カメイアリーナ 1,402名)
- 1月26日(土)** 仙台市バレーボール協会新年会
- 1月29日(火)** SVからのお知らせ (会員継続確認などについて)

今後の予定 . . . **諸般の都合により変更となる場合もあります。**

- 2月1日(金) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 (徳島)
- 2月1日(金) 仙台市NPO留学報告会 (SV2004としては2名受け入れ)
- 2月2日(土) 東海・中部スポーツボランティアサミット (名古屋)
- 2月3日(日) 中高生リーダー研修会 (カメイアリーナ仙台)
- 2月3日(日) 新潟サッカー楽会
- 2月9日(土) 中四国スポーツボランティアサミット (高松)
- 2月15日(金)～17日(日) 浅田真央アイスショー サポート (サンピア泉)
- 2月20日(水) NTT研修 (仙台ボランティア活動紹介)
- 2月17日(日) 中高生スポーツボランティア育成講座 修了式
- 3月23日(土)・24日(日) VリーグTOP8ゲーム (ゼビオアリーナ)